

# よろこび

日蓮宗 顕慶会

本山 妙顯寺

長音山 本誓寺

## 『日蓮聖人との対話』三 (感応対談)

貫首 齊藤 日軌

(問者) 日蓮聖人様どうかお答え下さい。平成二三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震による災害およびこれに伴う福島第一原子力発電所事故による災害では東日本各地での大きな揺れや大津波、火災等により、十二都道府県で約八千人の死者・行方不明者が発生しました。その後、地震や台風による被害が続きその上、この度のコロナウイルスの大流行、人々はそれに伴う経済的危機もあり大変苦しんでいます。戒めであるならば天罰ではなく私たちが戒めないのでしょか。戒めであるならば何を私たちは改めたらよいのでしょか。日蓮聖人お答え下さい。

(日蓮聖人) 私は「我日本の柱とならん、我れ日本の眼目とならん、我れ日本の大船とならん」等とちかいし日蓮です。私は皆の者を天上より心から心配しています。日本の国土、民のことをいつも見守っています。

野に咲く花は、まず人の心に咲く。飢饉、災害の全ては皆、人の心より現象世界の出来事として顕れてくる。故にまずそなた達の心を改めねば成りませぬ。

(問者) 日蓮聖人様、心を改めよと申しますがいったいどの様に改めればよいのでしょうか。自我、我欲、自己保存、足ることを知らぬ欲望として六根煩惱を改めよと云う事なのでしょか。



か。

(日蓮聖人) それらのことはもちろん大事なものであるが、心を正すには、まず正しいと言う基準、法に依らねばならぬ。正法に依って心の根本を正す、そして行いを正す。正法によってと言うことは本仏釈尊の教主釈尊の出世の本懐、釈尊がこの娑婆世界で一番説こうとした法華經に由らねばならないと言うことなのです。

法華經は釈尊が人類救済の為に説かれた経です。私達の主であり親であり教師である釈尊は、一切衆生の盲目を晴らし仏の智慧、認識を人類に持たせ地球を浄化し平和な楽土を造ろうと願ひ法華經を説かれました。

(問者) 釈尊出世の本懐は、法華經によつて、人の心を正し、人の振る舞いを正し、法華經の人類救済の御心にしたがうのですか。私たちが、法華經の人類救済の御心にしたがうならば、私たちが、行いを正し、人類皆共に手をつなぎ平和な地球をつくってゆかねばならないのですか。

(日蓮聖人) そのとおりです。正法、妙法蓮華經の心とは、本仏釈尊の大慈悲心なり。本仏とは大宇宙生命意識体であり、その方らの心そのものでもある。心を正すには、南無妙法蓮華經と唱えることです。南無妙法蓮華經とは本仏の心、妙法に自らの心を帰すと云う事です。また南無妙法蓮華經とは行いを正すこと、南無妙法蓮華經と唱えて仏の心で行い生きることで、

### 日蓮聖人のお言葉

南無妙法蓮華經と唱え本仏の  
このころにかえり  
南無妙法蓮華經と唱え仏の  
振る舞いをしよう  
それが正法によって心を正  
すと云うこと

